

f 研究課題名	逼迫する都市圏救急医療システムの中でのドクターカーの有用な活動システムの確立
研究の意義・目的	人口の高齢化や単身世帯の増加に起因する救急車出動件数の著増は多くの都市、地域が喫緊の課題とする医療問題です。そのような医療ニーズに応えるべく大阪公立大学は大阪市からの委託を受け、平成 29 年より大阪市内で唯一のドクターカー運行を開始しています。多くの要請がある中で、どのような傷病者に医師看護師の同乗するドクターカーが出場すべきか、出場ケースの医学的観点からの評価の他、傷病者および関係者(ご家族やご親族、施設職員など)の評価、救急隊評価、搬送先医療機関による評価などを集約し、ドクターカーの効率的運用の在り方を確立するのが本研究の目的です。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日-2026 年 3 月 31 日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	研究機関の長の研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日に大阪市消防局救急指令あるいは現場救急隊から当院救命救急センタードクターカーの出動要請となった傷病者の方々
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【ドクターカーでの搬送の経緯についての情報・時間・ドクターカー内で施行した検査とその結果】 大阪市消防局と傷病者の方についてドクターカー要請に必要な以下の平時から共有している情報： 【患者基本情報：①年齢、性別、外傷の場合受傷機転、②ドクターカー要請のあった理由、③ドクターカー接触時のバイタルサインや傷病者接触の時系列】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院救命救急センターで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院救命救急センターのみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学 内田健一郎
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科救急医学 講師 内田健一郎 Tel: 06-6645-3987